

議 事 録

作成日：令和3年6月23日

議 題

- 第2回 川南町学校規模適正化審議会
- 1 会長あいさつ及び議事録署名人の指名
 - 2 前回議事録の承認について
 - 3 協議
 - (1) 立地適正化計画について
 - (2) 川南町立中学校の統合に係る基本方針（案）について
 - ① 新中学校のコンセプト
 - 4 今後のスケジュール
 - 5 その他

日 時

令和3年6月17日
午後6時30分から
午後8時10分

作 成 者

教育課 橋口 実

場 所

役場本館3階 第1会議室

出 席 者

委 員

安藤洋之、平田順一、平塚金治、日高亘、小野智充、齋藤嘉貴、
中瀬修、井上侑加、鏑野寛美、富高保弘、木内新一、神谷則子、
前田将大、中津和彦

建 設 課

大山幸男課長、黒木尚也主幹

事 務 局

山本博課長、平部至識対策監、橋口実課長補佐、河野幾久子学校
教育係長、草刈淳指導主事

欠 席 者

委 員

永友辰樹

議 事

事務局（山本）

本日は、大変お忙しい中、御出席いただきまして誠にありがとうございます。最初に、前回の会議で、今回の会場を生涯学習センターとお伝えしておりましたが、役場本館に変更になりましたことをご詫言申し上げます。

なお、本日、永友委員より欠席の御連絡を受けています。よって、本日もご出席いただいております委員は、15名中14人であり、過半数に達していますので、川南町学校規模適正化審議会条例第6条第2項の規定により本日の審議会が成立しておりますことを御報告します。

それではただいまから、第2回審議会を開催いたします。

これからの進行につきましては、川南町学校規模適正化審議会条例第6条第1項の規定により、安藤会長に議事の進行をお願いしたいと思います。安藤会長、議長席へ移動をお願いします。

会長	<p>皆様こんばんは。久しぶりに天気も良くなりまして、気持ちのいい一日になったのではないかと思います。そのような中ではございますが、第2回の学校規模適正化審議会に委員の皆様には大変お忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。本日は、立地適正化計画について建設課から説明を受けまして、その後、基本方針（案）について皆様方からご意見をいただきたいと思っております。貴重な時間でございますので、是非たくさんの意見を出していただきたいと思っております。簡単ではございますが、挨拶に代えさせていただきます。</p> <p>それでは、議題に入ります前に、議事録署名人2人を指名したいと思っております。前回の審議会において、名簿記載順にお願いすることとなりましたので、今回は、日高委員と小野委員にお願いします。よろしくお願ひします。</p>
会長	<p>それでは、皆さまに署名いただけるように、各回、名簿順でお願いしたいと思います。今回は、平田委員と平塚委員に議事録署名をお願いいたします。</p> <p>それでは、議題に入ります。会次第の2前回の議事録の承認について、を議題とします。事前に配布しております議事録について、まずは事務局より説明をお願いします。</p>
事務局（橋口）	<p>この審議会の資料及び議事録については、町ホームページで公表することを考えております。その際、今、お手元にお配りしております議事録は委員の皆様も実名で作成しております。議事録作成について、実名とするか匿名とするかと、承認方法について、全体に諮った上で議事録署名人が署名をするか、会長及び議事録署名人お二人の確認で可とするか。この2点について御審議をよろしくお願ひします。</p>
会長	<p>事務局より説明のありました議事録について、実名とするか匿名にするかについて、御意見、御質問はありますか。</p>
	<p><実名でよいとの声あり></p>
会長	<p>議事録については、実名ということでよろしいですか。</p>
	<p><「はい」の声あり> 前回発言者も承認</p>
会長	<p>議事録については、実名で作成とさせていただきます。 続きまして、承認方法について、御意見、御質問はありますか。</p>
鏑野委員	<p>発言者の意図を確認する必要があると思っておりますので、全体で協議した上で承認する方法が良いと思っております。</p>
会長	<p>ただ今、鏑野委員からも発言がありましたとおり、事務局から事前に送られてきた議事録を全体で確認した上で、議事録署名人が署名するという形でよろしいでしょうか。</p>

	<p style="text-align: center;">＜「はい」の声あり＞</p>
会長	<p>それでは、そのようにします。 第1回の議事録について、何か御意見、御質問はありませんか。</p>
	<p style="text-align: center;">＜「なし」の声あり＞ 前回発言者も承認</p>
会長	<p>それでは、議事録については実名で作成、承認については全体で協議した上で承認し、議事録署名人が署名することとします。この会が終わりましたら、平田委員と平塚委員は第1回議事録の署名をお願いします。</p>
会長	<p>続きまして協議に入ります。立地適正化計画について、建設課より説明をお願いします。</p>
	<p style="text-align: center;">＜立地適正化計画を説明＞</p>
会長	<p>立地適正化計画についての説明を受けました。委員の皆様から御意見、御質問等がありましたらお願いします。</p>
釜野委員	<p>資料3ページでは、立地適正化計画とは、人口が減った分、まちをコンパクトにする（住むところをまとめる）計画で人口密度を高める（維持する）とありますが、一方で、資料4ページでは、まちの全ての人口を中心部に集約するわけではない、としてあります。矛盾していませんか。</p>
建設課（大山）	<p>この計画は、50年から100年といった長いスパンのものになります。 例えば、農業を営んでいたが、もう辞めてしまった方などを、町の中心部に呼び込みたい、というようなもので、強制的に移動をさせるものではありません。</p>
釜野委員	<p>移転ともなると費用等も掛かりますので、現実的には難しいのではないのでしょうか。</p>
建設課（大山）	<p>御指摘のとおりだと考えております。この事業につきましては、最近、業務を発注したばかりでございますので、これからいろいろな問題点を洗い出しまして、町民の皆様へも説明が出来るようにしていきたいと思っております。</p>
釜野委員	<p>このままの説明では、町民の皆さんも納得できないと思いますので、よろしくをお願いします。それからもう一点確認です。都市計画区域内に作れば、国から財政支援50%が出るということよろしいですか。</p>
建設課（黒木）	<p>都市計画区域内であり、かつ、居住誘導区域と都市機能誘導区域を定めて、その中に施設を作った場合に50%の補助事業で行えるということになります。</p>
釜野委員	<p>前回の審議会の説明の中で、3箇所では費用比較を行っているという説明がありましたが、その3箇所は、都市計画区域内に入っているのですか。</p>
事務局（橋口）	<p>前回説明しました3箇所は、トロントロンドムの周辺、唐瀬原中学</p>

	校、国光原中学校となりますので、国光原中学校は都市計画区域には入っておりません。
鑪野委員	国立療養所の敷地は比較検討地としては入っていないですね。
事務局（橋口）	入っておりません。
鑪野委員	聞いたところによると国立療養所の敷地については、その自治体の首長が依頼すれば売却が可能と聞いたのですが、町ではそのような動きは全くしていなかったのですか。
事務局（山本）	町長は行っておりませんが、副町長と私で病院に話を聞きに行ったところ、今すぐではありませんが、いずれ病院として敷地を活用する計画があり、売却することは不可能との回答をいただいております。
鑪野委員	その話はどこに聞いたのですか。
事務局（山本）	病院の事務局です。
鑪野委員	このような話は、病院にではなく国に直接申請しないといけないのではないですか。
事務局（山本）	国立療養所の敷地の問題は、今回の中学校建設の時からでなく、以前から病院といろいろと話をさせてもらっています。過去からの問題等もあるようで、病院としては売却するつもりはないというのを聞いておりましたが、中学校建設に伴い改めて確認に行かせてもらった状況です。 なかなか売ってもらうのは難しいなというのが正直な感想です。
鑪野委員	わかりました。
会長	その他何かありませんか。
中津委員	私は、国立療養所の近くに40年近く住んでいます。以前から全く何も変わっていません。前回説明のありましたアンケート結果では、6.8%の方が国立療養所の敷地含むその他の場所を希望しています。先ほどの事務局の説明で6.8%、約90名の方が納得するでしょうか。 病院では、今後計画があるということですが、何をするのか具体的に聞きたいです。
会長	国にですか。
中津委員	先ほど鑪野委員からもありましたとおり、国に直接聞いてみないと、病院では売らないと言っていますので、本当に売らないのか、今後どのようなビジョンを持っているのか、それを国に聞くということではできないのでしょうか。
事務局（山本）	難しいとを考えます。私たちが話を聞いてきたのは施設の責任者でしたが、売ることに對して考える余地もないという感じで、まったく売る気はないという姿勢でした。
中津委員	そこに食い下がったりとか、突っ込んだりということはしなかったのですか。何の問題があるのかなどは聞いてないのですか。
事務局（山本）	病院に計画があると聞いて、今回は帰ってきたところです。

	病院から計画があると言われれば、どうしようもできないと考えました。
中津委員	病院は国の土地といっても、川南町に施設ができる訳ですから、町としても計画を知る必要はあるのではないのでしょうか。そのあたりを聞くことは出来ないのでしょうか。
会長	国立の計画ということですか。
中津委員	先ほども言いましたが、私は病院の隣に40年近く住んでいますが、何も変わっていません。何もしないのであれば、売ってほしいとお願いに行っても、いや計画がありますと言われても納得ができません。
事務局（山本）	再度、病院に伺って話を聞くことはできますので、聞いてみます。
中津委員	具体的な計画を教えてもらえれば、6.8%の方も納得されるのではないのでしょうか。
会長	また、事務局が確認するというので、よろしいですか。
中津委員	はい。
会長	その他、立地適正化計画に関して質問はありませんか。 無いようなので、次に移ります。 建設課の皆様、本日は御多用の中、ありがとうございました。
会長	それでは、前回のアンケートの結果も踏まえて、委員の皆様から新しい中学校に対して、期待することなど、御意見をお聞かせいただきたいと思えます。時間に限りがありますので、一人5分以内でお願いします。 その前に、両中学校の校長先生から学校の現状について、教えていただけないでしょうか。まずは、日高委員をお願いします。
日高委員	本校の生徒は282名、学級数が支援学級も含めて12学級あります。生徒達は、いろいろな部活に入り日々頑張っております。唐瀬原中は、区域が広くほとんどの生徒が自転車で通学しています。学級数は丁度よく、1学級30名程度となっています。部活動につきましては、屋外と屋内のスポーツ、文化系のものがありますが、部によっては、大変人数が少なく、外部のクラブチームと連携しながらやっている部活もあります。 現状については、簡単ですが以上になります。
会長	ありがとうございました。次に小野委員をお願いします。
小野委員	本校の生徒は173名で、学級数は特別支援学級が2つありますので、合計で8学級、1学級30名程度となっています。唐中と同じように自転車通学の生徒が非常に多いです。部活動については、運営が厳しくなっている部がある半面、部員が多い部活もあります。こちらから適正な数にすることもできませんので難しい状況です。地域のクラブチーム、水泳のように個人で入っている生徒もおり、学校外で活動している

	<p>生徒もいます。特徴的なことは、サッカー部は3年生が8名おりますが、この8名しかおりません。学校が定めている規定により廃部になるのではないかと心配しています。生徒達は、部活動、日ごろの活動、生徒会活動なども地道に行っております。生徒指導上大きな問題もありません。以上です。</p>
会長	<p>ありがとうございます。質疑につきましては後ほど時間を取りたいと思います。先ほども言いましたとおり皆様の意見をお聞きしたいと思います。それでは、平田委員から名簿の順番で御意見をお聞かせください。よろしくお願いいたします。</p>
平田委員	<p>まずは、審議会の持ち方について確認したいのですが、前回諮問をされたわけですが、その諮問書の中では、以前の審議会で両校の統合はやむを得ないとの答申を受け、教員委員会で中学校の統合については、全会一致で可決され、今回は中学校の統合については、話し合うようになっていますが、アンケートの結果には小中一貫校についても意見が出ています。小学校のことは話し合わず、中学校のこのみを話し合うのですか。</p>
事務局（橋口）	<p>平田委員が言われるとおり、今回の話し合いは中学校統合のこのみで、小中一貫校に関することは審議の中にはありません。小学校の統合については、まだ何も検討しておりません。</p>
平田委員	<p>わかりました。</p>
平塚委員	<p>人口の推移を見てみますと、25年後には老年人口が生産年齢人口を逆転するようになっていきます。24、5年先というのはすぐすぐだと思います。今の小中校生が働き盛りの時になります。そういう時代になるということをお子たちのことを考えながら、場所も含めて学校経営を考えていかなければならないと思います。もうすでに、学校だけでは未来に対応できる子供を育てるのは難しいと言われていています。地域と一緒にしないとだめだと言われていています。そこで、私たちは頑張っているわけですが、川南の方々は学校に協力的です。これからの学校は地域とともにどうあるべきか考えて、場所を選定しないといけないと思います。</p>
齋藤委員	<p>私は中学校PTA代表として参加しています。部活では部員がギリギリで、後数年すると他校との合同チームを作らなければならなくなると聞いていますので、私とすると統合は早ければ早い方が良いと思っています。場所についても、いろんな意見はあるのですが、みんなが100%同じ意見になるということはないので、今トロンを中心としたところはかなり多くの賛同を得ているということですから、丁寧な説明は必要でしょうがどんどん進めて欲しいと考えています。</p>
中瀬委員	<p>私は小学校のPTA会長をさせていただいておりますが、向こう5年間、10年間の人口減、生徒数減というのが川南小学校でも5年後には</p>

	<p>100名少なくなるという現実がありますので、スピード感を持って進めていただきたいと思います。</p>
井上委員	<p>私はたくさんの大人たちが見守るいじめなど孤立のない学校づくりを目指していただきたいと思います。地域みんなで子育てをすることで心豊かで、心の強い子にして欲しいと思います。以前、あるボランティア活動に参加して、地域の中学生や高校生と関わることもありましたが、寂しさや孤立、いじめと闘っている生徒が非常に多く、実質昨年2020年は、文部科学省によると過去最多の479人が自殺しているのが現状です。その中で、進路に関する悩み、学業不振、親子関係の不安などがあり、昔では、祖父母と一緒に暮らしたり、近所の方が声を掛けてくれたりしていましたが、現在は核家族化が進み、近所付き合いもなくなって孤独な子供たちが増えているという意見もありますので、トロンドームの近く、商店街が近くにある場所に中学校を作り、例えば、図書館を従来の利用者と子供たちが共有し、大人との交流を持ったり、スポーツ合宿で来ている先輩たちの活躍する姿を見て将来を見据えたりするなど、常に大人たちと関わりあえる関係作りが必要だと考えます。</p>
中津委員	<p>先ほど平田委員からも出ましたが、この会は中学校だけの問題ではないのではないかと考えます。せつかくこのような話し合いができる場があるのであれば、長いスパンで見て小中一貫についても話し合った方がいいのではないかと思います。ゆくゆく小学校についても立ち行かなくなるのでしょうから、立地のことも含めて今回議論するべきではないでしょうか。</p>
前田委員	<p>7月に費用比較の話があると聞いていますが、その際に費用の割合についてもお聞きしたいと思っています。国、県、町の費用負担の割合を教えてください。もう1点は、方針(案)の7ページに書かれている安全・環境・防災に配慮した施設については、こういう施設を町内の中心部に作ると災害があった場合に活躍できるのではないかと考えます。一昨年ぐらいに台風で3、4日停電した時にとっても不便でしたので、このような太陽光パネルを設置するような施設は大事だと思います。</p>
神谷委員	<p>一昨年に行われた審議会にも参加していて、その時は両校を統合するというのが着地点だったと思っています。両校を統合することで、子どもたちの選択肢が多くなるようにして欲しいと思っています。勉強面にしてもスポーツ面にしても、そうすることで、先ほど井上委員の言われた強い子供に育っていくのではないかと思いますので、できるだけ早く子供たちのために、この計画を進めて欲しいと思います。</p>
木内委員	<p>私が役場に勤めている頃は、人口が増えている時代でしたので、先ほど建設課の説明がピンと来なかったわけですが、時代も大きく変わったようです。</p>

富高委員	<p>平成31年度に行われた審議会にも参加して両校を統合するという答申を出しました。前回、今日の話し合いでは、統合の話だけでなく、いろいろなことに飛び火しているので、私はよく理解できていません。とりあえず、中学校統合の話を進めましょう。</p> <p>先日、通山小学校の生徒が自治公民館に来て、一旦川南町を離れませんがいつの日か帰ってきますと言ってくれました。子供たちの思い出に残るような学校を作れば、子どもたちは大きくなったら帰ってくるのではないのでしょうか。</p>
鏞野委員	<p>私も基本的には中学校の統廃合に賛成です。しかし、先ほどから意見が出ておりますように、これから更に人口、児童数は減少してきます。そうした中で、小学校の小中一貫校も視野に入れて、そうなった場合でも対応できますという枠組みを考えておかないといけないと思います。先ほど事務局は、小学校はありませんと言い切りましたが、現実的に統廃合の話は出てくるわけですから、それを視野に入れた枠組みを考えなくてはなりません。それから、次回、費用面の説明があることになっています。3箇所を比較検討するということですが、3箇所を同じ基準で比較しないと正しい判断ができませんので、正当に同一基準で比較した資料の提出をお願いします。</p>
会長	<p>皆様、貴重なご意見ありがとうございました。これから質疑を行います。聞いておきたいこと、追加での意見など何かありませんか。</p>
日高委員	<p>基本方針について発言してもよろしいでしょうか。4つの目指す学校像、9つの基本コンセプト、すべてが作りこまれており、とても素晴らしいものだと思います。</p>
事務局（橋口）	<p>本来ならば、皆様の意見を聞く前に目指す学校像と基本コンセプトについて、私から説明をするところでしたが、先ほど日高委員から詳しく解説、御意見をいただきました。ありがとうございます。</p> <p>そこで、目指す学校像、基本コンセプトについて、追加するべきもの等ありましたら御意見をお願いします。</p> <p>また、中津委員、鏞野委員からありました小中一貫校について、先ほど小学校の話はないと言い切りましたし申し訳ありませんでしたが、まったく検討していないわけではなく、小学校の統合については、まだまだ保護者の理解が得られないというのが事務局の感想でございます。しかし、考えていかなければならないのは当然のことです。今回の中学校統合に合わせて小中一貫校となりますとスケジュール的に難しいものがありますので、1小、1中、近くに小学校ができるような場所を検討していかなければならないと考えております。ただ、令和8年開校には、小中一貫校は間に合いません。</p>
鏞野委員	<p>令和8年に小中一貫校を作りなさいと言っているのではなく、先のこと</p>

	とを考えて枠組みを作っておきなさい、ということを申し上げています。
事務局（橋口）	わかりました。
中津委員	基本コンセプトの9にさらなる幼小保連携教育の推進の中に小中が連携すると記載がありますので、先ほど説明がありました、1小、1中になった場合でも対応できる場所をこの審議会の場で話し合っておくべきではないかと思います。
鏑野委員	場所については、次回の話し合いになると思いますが、将来的に小中一貫校になった場合でも対応できる場所を見据えて議論しなければいけません。今は、中学校だけの話でもいいのですが、いずれ小中一貫校になった場合のことも考えておかなければいけません。
平田委員	私も鏑野委員の意見に同感です。教育委員会からの諮問にも基本コンセプトにも入っていますが、学びの保障というのは義務教育の9年間でやるとはっきりうたっているのだからやらなければいけません。
事務局（橋口）	どのタイミングで小学校を統合しますと言えるかは今のところでは全く不明です。
鏑野委員	その時期が問題ではなく、対応できる場所を確保しておくことが大事なことです。
中津委員	当初の計画で8月末が答申となっていますが、日程的に難しいのではないのでしょうか。日程を延期することは出来ないのでしょうか。 多額の建設費用が掛かる中学校建設について、すべての人が納得するのは難しいかもしれませんが、しっかりと時間を掛けて議論をしないとイケないと思います。
事務局（山本）	中津委員の言われることは十分わかっておりますが、令和8年の開校を目指すにあたり、今でも大変タイトなスケジュールとなっています。今年度中に議会で承認をしていただくには、現在示しております計画の中で議論をしていただきたいと思います。
中津委員	第1回審議会で説明があったかもしれませんが、令和8年開校でなければならぬのですか。
事務局（山本）	現在の住民データから見て令和8年を境に生徒数が大きく減ることが分かっていますので、ある程度生徒数が見込まれ教室の数が確保できる令和8年までに統合をしたいと考えております。
中津委員	生徒数が減ってくれば教室は無駄になるのではないですか。
事務局（山本）	令和8年は約130名、令和9年以降は100名前後で推移します。空き教室は、特別支援クラスや少人数指導用に使用していきたいと考えています。
中瀬委員	中津委員に反論する訳ではありませんが、学校運営基準というものがあると聞いたことがあります。その中で、生徒数が減れば先生の配置数

	も減り、現に国光原中学校では十分な配置ができないと聞いています。ということは、国光原中学校に通う生徒達は、教育という部分での不利益を被ってしまっている可能性があると考えられます。それは、絶対にさせてはなりません。だから、私は1日も早く統合を進めなければならないという思いでこの会に参加しています。
中津委員	私も中学校の統合には賛成ですので、そのような説明をしていただけると納得ができます。
会長	それでは、質疑が出尽くしたようですので、次に移ります。その他について事務局は何かありますか。
事務局 (山本)	次回の会議日程について提案します。7月8日木曜日 午後6時30分からこの会場で行いたいと思います。
会長	皆様、御異議はありませんか。御異議がなければ事務局の提案どおりの日程で第3回審議会を行いますので、よろしくお願いします。
会長	皆様、ありがとうございました。それでは、以上を持ちまして、本日の議事の全てが終了しました。皆様の御協力ありがとうございました。
事務局 (山本)	安藤会長ありがとうございました。皆様本日は、大変お忙しい中、御協議いただきまして誠にありがとうございました。以上をもちまして、第2回川南町学校規模適正化審議会を終了させていただきます。お疲れさまでした。

以上、会議において出された意見であると認めます。

令和3年7月8日

第2回審議会

会 長

安藤 洋之

議事録署名人

日高 亘

議事録署名人

小野 智充